

質問8.医師(病院・一般診療所)に望むことはありますか？

病院・診療所	電話での相談、職員の訪問時に対応をよろしくお願いいたします。
	末期進行癌の患者とはもう少し早くから紹介してもらいたい。
	互いに助け合う連携グループを作りたい。
	他職種全般に言えることですが、電話連絡が取りづらい時があり、急ぎではないためにmailなどを使いたいが、きちんと読んでくれるかも心配であり、何かいい方法はないでしょうか。
	必要があつて紹介しあうわけですから、できる限り断らずに依頼を受けてほしい。
	不在時の看取り
	病院からの退院時に(特に在宅療養のガン末期の方など)、可能であれば早めに情報提供を行っていただきたい。
歯科	口腔と全身との関連で連携したい。
	医科・歯科連携は大切だと思いますが、専門外なのと言われることもあります。連携が取れるといいです。よろしくお願いします。
薬局	情報共有がスムーズにできること
	患者の服薬状況に問題がある場合、服薬しやすいような処方提案をさせて頂く事もあるかもしれません。その場合、是非ご検討を。
	提出した報告書に対するフィードバック
	薬が変更になった時ときなどの情報が欲しいです。
	コミュニケーションが取れる環境があるといいなと思う。
	入退院時の情報提供や引継ぎなどがケアマネを通して行われることがある。退院後に通うかかりつけ医が決まっているなら、薬局もわかるはずなので是非退院時カンファレンスなどに出席させてほしい。
	訪問ノート等の活用(全職種記入可能なもの)
	剤型変更後の変更がなされていない等
	もう少し連携がとりやすくなると有難い。
	病院で疲れて薬局で話されない方もいらっしゃると思いますので、処方の変更点・データの共有などメモがあると助かります。
訪問看護	病院(主治医)からの指示で訪問しているため、患者さんに問題が起これ、相談したいことがあっても話ができない。
	報告に行った時、他の患者と一緒に待たされる。訪問時間があるため優先してほしい。
	早期から在宅医療や訪問看護を提案してほしい。
	病状、内服状況の確認(変更時など)
	一般診療所の場合は、ラインやメールでの連絡が取れるためスムーズ。病院では電話での対応になるため、メール等他の手段があると便利
	連携の方法について、都合のいい方法(メール、FAXなど)や時間帯を教えてもらえば、それに合わせて連携しやすい。
病院関係者	一般診療所に転院相談を行う際、対応可能な医療行為を事前に教えていただきたい。
	一般診療所に転院相談を行う際、リハビリの有無や週に実施する回数の目安が知りたい。
	訪問診療についての情報が欲しい。
	相談しやすい環境にしてほしい。
	医師は多忙と分かっているのに、連携のタイミングが難しいですが、病院医師に対しては連携室を介し連携しています。一般診療所の医師に対しては、あらかじめ都合を確認し再度連絡をしています。
居宅介護支援	大きな病院ほど患者さんを多く担当されているので、医師と患者さんの関係は希薄な傾向にあると思います。連携が難しい要因の一つだと思います。
	病院の医師に相談できる時間帯を予め示してあれば助かります。
	規模が大きく、連携室がない病院などは連携が非常に難しく、細かいやり取りが難しくなります。時には何度も電話でのやり取りが必要になるため、窓口があれば助かります。
	各医療機関で連携窓口・時間などを示してほしい。日頃の連携タイム、ケアマネタイム等
	退院時の情報提供がない医療機関があり(一部)、統一できるよう働きかけを行ってほしい。
	大きな病院のみ受診されている方に、在宅医をつけてもらいたい。
	気軽に相談しやすい環境づくりをして欲しい。

居宅介護支援	生活場面での助言や情報共有ができると助かります。
	患者の病氣治療はするが、家庭環境や介護力を理解していないで指示を出すDr.が一部いらっしゃると思います。
	話を聞いてほしい。一般診療所には、入退院の時にもっと連携してほしい。一般診療所には、中間役になってくれる窓口のような人がほしい。時間の指定だけでも対応してほしい。
	介護保険更新時の主治医の意見書の返答を早くしてほしい。
	ケアマネの役割、介護保険についての理解を深めていただけたらと感じています。
	医師は忙しいので相談しにくい。
	認知機能が低下している高齢者への食間10時14時の内服薬・・・など、怠薬するであろう処方はいかがか（もっと在宅のリアルを知ってほしい）
	相談しやすい医師と相談しにくい医師が未だにいます。ケアマネの話にももう少し耳を傾けてほしいと思います。
	在宅介護の必要性への理解、医療面のフォロー
	訪問診療、往診、ターミナルケアへの協力強化
	一般診療所の先生も介護保険の相談に行く際も快く対応して下さる。
	自宅での過ごし方、家族の介護力の情報共有
	特にありませんが、日常生活において病氣と生活を両立できるようアドバイスをお願いしたい。
訪問介護	私にもわかるような言葉で説明してもらったら助かります。
	バイタル測定で高い時もあり、1か月記録しケアマネを通じて医師に報告するも「好かん」と対応していただけなかった。何かしらアドバイスなど欲しかった。多職種の情報共有の大切さ、連携の重要性を理解してほしい。
	サ高住併設なので施設相談員が関わる事が多く、直接関わることはありません。
高齢者施設	連携できる時間帯を表示してほしい。
	お忙しいと思いますが、相談しやすい環境があると助かります。
	入所されている方の家族への説明、また急変時の対応と説明等
	医師と連携室SW間において、退院許可の連携がきちんと図れていない状況で、入所受け入れの相談があり、日程調整だけが先走り、ご家族や施設側が振り回されたことがありましたので、その連携が曖昧にならないようにお願いしたいです。
	話しやすい雰囲気を出してほしい。
	身近な医師にはいませんが、これまでの経験の中で介護保険やケアマネジャーのことをよく知らない、理解されていない医師もおられました。生活での留意点（療養上の留意点）など聞きやすい環境になるといいなと思う。
	ご利用者の緊急入院時、外来入院病棟の申し送りに時間がかかりすぎるスマートに行ってほしい。
	入居者や利用者が軽い体調の変化のうちに相談や指示をして頂いて、重い急変とならないよう協力頂けたらと思います
	利用者の痛みの軽減を優先してほしい。
	毎週の往診、異常、異変（体調）があれば、相談ができ、往診も可能な体制が整っていて大変心強く感じています。心療内科においては、こまめに相談し、処方を考えていただいています。この関係を継続できれば幸いです。
	緊急（休日・夜間）の時に、携帯電話でもつながり、相談に乗っていただけると助かります。
	病院が大きいほどDr.も時間が取れないのは十分理解しているが、付き添いの介護職員に説明をされなかったり、相談をしたいのに聞いて下さらなかったりがあり、連携が上手に取れないことが多い。できれば施設の方の時間の枠を取ってほしい。
	休日にも急変時等対応いただいております。感謝しています。
	診療報酬改定や介護報酬改定に伴う相互の理解
	なかなか深く尋ねられない。医療は知識も少なくご多忙なDr.が多いので。
	相談しやすい雰囲気。夜間の対応
包括	医師は多忙なので、窓口となる看護師さんなどがいらっしゃれば、連携が図りやすいと思います。
	受診が途切れている。内服薬を服用しない。また認知機能の低下などの情報の共有
	年1回でも2回でもいいので、語らん場や地域の集いの場に参加して頂けたらありがたいです。地域の課題、解決策について、一緒に共有し協議していきたい。

質問8関連 医師(病院・一般診療所)から他の職種に望むこと

歯科	歯周病進行者、顎骨壊死riskの高い方で、医科通院中の方は連絡をいただきたい。
	互いに助け合う連携グループを作りたい。
	全般に言えることですが、やはり在宅に熱心な先生には頼みやすいですが、普段から、頼んでも断られると、その次からは依頼しにくくなるものです。こういう条件なら引き受けられるというものがあれば、教えていただきたいと思います。
	薬について学んでほしい。
薬局	返書を要する連絡はTelしてほしい。
	在宅訪問管理の報告内容を簡潔に。
	常に薬剤情報を共有し、重複投与や投薬注意について教えてほしい。
	薬剤の説明時に、過剰な副作用の説明で内服されない方がいる。ある程度、包んだ言い方で説明してほしい。あるいは、処方内容に疑問があれば、主治医に連絡していただきたい。患者さんにあまり飲まない方がいいと説明されている場合もある。
訪問	訪問時に気になることや改善点があれば積極的に教えてほしい。
	あまり一緒に仕事をしたことがない。
病院関係者	定期受診をされているときは受診時の状況や注意点があれば情報を共有したい。
	診療所、地域のかかりつけ医と連携をとる場合に医師との直接のやり取りになり、お忙しい中かと思うので申し訳なく思うことがある。また当日の急患は見れないことがほとんどなので、認知症の面など今も気掛けていただいているが、早めにご相談頂けるとありがたい。
	良く連携できている所は少ないと思う。コミュニケーション力、マネジメント力をつけてほしい。
居宅介護支援	重要な変化があった場合は、FAX以外にも電話連絡をいただきたい。
	カンファなど定期的に行ってほしい。
	しっかり連絡してくる方と、全く連絡なしの方がいます。
	可能な限り担当している方に会ったり連絡を取り、困っていることがないか常に注意し、必要があればすぐに主治医などに連絡してほしい。
	包括の場合、個人情報の守秘義務があると思うので、地域での高齢者の状況に関して情報提供をいただきたいが難しいケースがある。明らかに妄想などが見られ、ご家族の関りがいい場合、しかし本人が受診拒否しているなどどのように対応したらよいか、話し合いの場を持つにはどのようにしたらよいだろうか。
	ケアマネジャーの病状に対する知識理解に差がある。本来の職務より、事業所運営を優先させているように見えることがある。できるだけ、個々の事例に適切なケアプランを作るように努力してほしい。
	謙虚に仕事をしてほしい。もう少し賢くなってほしい。
	電話では忙しく対応困難なこともあり、FAXなどでも可能
介護訪問	カンファなど定期的に行ってほしい。
	自分の家族をお世話している気持ちで少しでも気になることがあれば全員に教えてほしい。
	全体的にレベルアップしてほしい。
施設高齢者	看取り希望などACPを行ってほしい。
	カンファなど定期的に行ってほしい。
	問題がある時は何でも相談してほしい。
	施設運営を優先させることを減らしてほしい。中には殆ど現場任せで関与しないこともある。是正が必要。
	コミュニケーション力を学んでほしい。